

持続的な成長を実現するための価値創造ストーリー
UBEグループの価値創造プロセス

UBEグループは、地球環境問題などの外部環境の変化に対し、そのリスクと機会の精査、マテリアリティの特定を経て経営戦略を立案・実行しています。そして社会に対して製品やソリューションを提供することによって価値を創出し、持続可能な社会の実現とUBEグループの持続的な成長を目指しています。

外部環境の変化 ➤ **2019年度**
企業価値を構成する資本

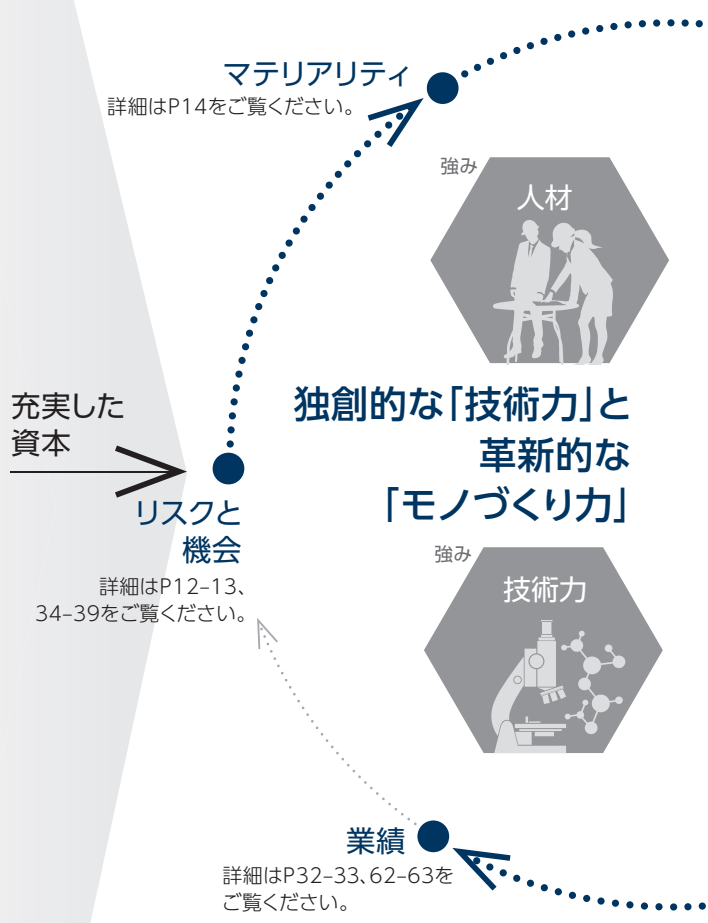
地球温暖化などの環境問題:
 持続可能な社会創出への流れ

自然災害の増加、インフラの老朽化:
 国土強靱化、防災・減災につながるインフラの再構築

新興国の人口増加・中間層拡大・都市化進展:
 食料・水・資源・インフラ・エネルギー不足

先進国における少子高齢化働き方の多様性・グローバル化の加速:
 女性活躍、ダイバーシティ推進、グローバル人材の育成

<p>財務資本 健全な財務基盤で 企業価値向上をバックアップ</p> <p>自己資本3,295億円^(注) (注) 2019年4月1日現在 詳細はP9をご覧ください。</p>
<p>製造資本 宇部地区を中心に、インフラ、事業、人材、ノウハウが集積</p> <p>国内 5拠点・海外 4拠点 詳細はP22-23、26-27をご覧ください。</p>
<p>人的資本 多様な個性と価値観を尊重</p> <p>詳細はP28-29、50-53をご覧ください。</p>
<p>知的資本 広範な技術基盤</p> <p>研究開発費 128億円 詳細はP30-31をご覧ください。</p>
<p>社会関係資本 ステークホルダーとの結びつきを重視</p> <p>投資家との対話 のべ個別面談回数 約200回^(注) (注) 2019年度</p> <p>レスポンシブル・ケア (RC) 地域対話 1997年から実施 詳細はP26-27、40-43、48、54をご覧ください。</p>
<p>自然資本 環境負荷の低減</p> <p>豊富な水資源(山口県) 環境に貢献する製品・技術 詳細はP18-19、57をご覧ください。</p>



価値創造を支える基盤

経営理念 ————— 技術の探求と革新の心で、未来に



2019年度

企業価値を構成する資本に与える影響

社会に提供する価値

SDGsへの取り組み

2025年のありたい姿
[Vision UBE 2025]
中期経営計画
[Vision UBE 2025 -Prime Phase-]

戦略と資源配分

詳細はP8をご覧ください。

強み

強固な
お客様基盤



強み

インフラ



価値創出

製品・ソリューション

詳細はP26-27, 34-39
をご覧ください。

ESG 詳細はP15-19, 40-61をご覧ください。

つながる価値を創出し、社会の発展に貢献します

税金等調整前
当期純利益 303億円

フリー・
キャッシュ・フロー 278億円

ROE 6.9%
ROA 5.2%

現場を支える資格^(注)の
新規取得者数 93名

(注) 高圧ガス製造保安責任者(化学)
コンクリート技士・主任技士(建設資材)
各種技能士(機械)

特許登録件数 190件^(注)
(注) 2018年度

環境貢献型事業の
総売上高に対する割合 29%

資源再利用、省エネルギーの
実施による節約額 63億円

地球環境問題への対応:

環境に貢献する製品・
ソリューション
(リチウムイオン電池、
エコタイヤ、高機能コーティング材料など)



環境貢献:

モノの小型化・軽量化・
長寿命化への貢献
(金属から樹脂への置換、
国土強靭化への貢献、
インフラの構築と補修、コンクリート舗装など)



ヘルスケア・食料問題への対応:

健康・食品衛生・食料生産に貢献
(医薬品、食品包装フィルム、肥料など)



循環型社会への貢献:

資源リサイクルの推進
(セメント原料化、製鋼事業など)



地域社会への貢献:

雇用創出、納税、
地域振興への取り組み



新しい価値創造に向けた資本の再投入